

## 産科医療補償制度 第 86 回原因分析委員会 議事要旨

日時：平成 29 年 6 月 13 日（火） 17 時 00 分～18 時 45 分

場所：公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者（委員）：石川浩史、茨聡、岡井崇、北田淳子、楠田聡、佐藤昌司、  
下屋浩一郎、鈴木利廣、関博之、高橋恒男、宮澤潤、  
村越毅（敬称略）

### 議事概要：

#### 1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況について

- 平成 29 年 4 月末時点で、原因分析報告書の累計承認件数が 1,407 件となったこと等が報告された。
- 「別紙（要望書）」対応<sup>(※1)</sup>について、平成 29 年 4 月末までに 33 の分娩機関に対し実施したこと、改善要望を行った項目としては「胎児心拍数陣痛図の判読と対応」が一番多かったこと等が報告された。

#### 2) 原因分析報告書送付後のご意見に対する対応について

- 制度のホームページ等に掲載している原因分析に関する Q & A の一部について修正を検討することが報告された。

#### 3) 原因分析報告書全文版（マスキング版）の開示対応状況について

- 平成 27 年 11 月の開示方法の変更以降、平成 29 年 4 月末までに、6 件の原因分析報告書全文版（マスキング版）の利用申請があり、延べ 396 事例の報告書について開示が行われたことが報告された。

#### 4) 部会審議における確認事項等

- 原因分析報告書上の原因の記載や医学的評価のあり方等に関して、原因分析の質および均質性を維持するために、原因分析委員会としての方針を整理した方がよいと提起された事項について考え方を整理した。

#### 5) 原因分析に用いる参照資料の改定について

- 原因分析を行う際に用いる参照資料が改定されたことが報告された。

(※1) 同一分娩機関において複数事案目の事例が発生し、原因分析でも、これまでと同様の指摘が行われ、改善がみられない、または、同じような事例の発生が繰り返されるおそれがあると原因分析委員会が判断した場合、該当の分娩機関に対し「別紙（要望書）」を送付し、改善取組みとその報告を求めている。

以上